# 第 127 回「防災まちづくり談義の会」レポート

（防災塾・だるま・ホームページ： http://darumajin.sakura.ne.jp/ ）

平成 28 年 1 月

日　時：2016 年 1 月 29 日（金）　18:00-19:30　　場　所：神奈川大学　24 号館　310 号室

◆ 主　催：防災塾・だるま　　司　会：小林秀樹　　記　録：紅林敏行

◆ 談義の会参加者：　会員 20 名　　一般 6 名（含む講師 2 名）　　計 26 名　（敬称略）

中央（荏本塾長）　右（司会：小林さん）

塾長挨拶
1 年のｽﾀｰﾄの会。本日は、二つの自治会から防災活動の事例を紹介。良い取組を各々が地元に持ち帰り、活用して欲しい。これからも地域の防災活動を繋げ、防災力向上を推進していきたい。

講義風景

## 話題:横浜の防災活動紹介　～私たちの地域の防災活動紹介～

講師:緑区:東本郷ばらの会自治会(講師:遠藤 陽義氏(自治会防災本部副本部長))

磯子区:三井杉田台自治会　(講師:片山 晋氏(自治会顧問、だるま会員))

### ●東本郷ばらの会自治会　「住民参加の実行力のある防災組織」（被災時のﾘｰﾀﾞをつくる）

講師(遠藤さん)

JR 鴨居駅から徒歩 15 分、丘の上の開発団地、全戸一戸建て 700 世帯の自治会。人的被害ｾﾞﾛを目指し、平成 19 年から自主防災組織(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾍﾞｰｽ)を立上げ、各種訓練を毎年実施。平成 24 年に新自主防災組織（自治会班と防災班の一体化）に移行し、地域防災力強化を推進中。

●『良い人間関係こそ最高の贅沢（「ﾊﾟﾘの隣人祭り」）』がﾋﾝﾄ・・・理念と目標。
●自治会を 14 ﾌﾞﾛｯｸ 39 班に再編し、自治会全体で防災活動に対応。
●専門３チーム編成：①庶務・情報・食料　②災害対応　③要介護者支援
●ﾌﾞﾛｯｸ内の防災体制（本当に動ける防災組織）の立上げを牽引中。

【主なＱ＆Ａ】参考: 東本郷ばらの会自治会 HP: http://homepage3.nifty.com/bara-jitikai/
・任期は？⇒会長（＝本部長）3 年、理事／班長は 1 年。理事はﾌﾞﾛｯｸﾘｰﾀﾞ（次年度は副ﾌﾞﾛｯｸﾘｰﾀﾞ（規約で規定））。
・苦労話？⇒規約／組織等の変更では当然反対論があったが総会で押し切った。被災時、本当に動ける体制を作った。

### ●三井杉田台自治会　「実践的な防災訓練」（責任者不在でも機能させられる訓練、不意打ち訓練等）

講師(片山さん)

JR 新杉田駅から徒歩 20 分の丘の上、95%一戸建ての 450 世帯の自治会。
「災害時犠牲者を出さない、避難所へ行かなくてよくする」防災訓練を推進中。

●自治会を 5 ﾌﾞﾛｯｸに分け、役員・班長・特別班員全員の自宅にﾄﾗﾝｼｰﾊﾞ、ﾊﾞｰﾙ、10 型消火器の 3 点を配布。防災家族ｶｰﾄﾞ(含む要援護者情報)を毎年収集。
●全世帯で各々30 分間に 5 軒訪問し、「防災ｶﾙﾀ」交換、安否確認・報告を実施。
●安否確認などの訓練の最中にﾄﾗﾝｼｰﾊﾞを通じて予告なしに緊急な指示を出す。
●特定小電力ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞによる地域内住民間の情報伝達。

【主なＱ＆Ａ】　参考:防災を考える会・磯子 HP: http://members2.jcom.home.ne.jp/skxlu/index.htm
・個人情報管理は?:⇒防災家族ｶｰﾄﾞの旧年度分は収集後ｼｭﾚｯﾀ。新年度のｶｰﾄﾞは全数自治会で保管し、各ﾌﾞﾛｯｸ分をｺﾋﾟｰしてそれぞれの班長にて保管。金庫には入れていない。(保護法は 5000 人以上からが対象)

### ●次回（第 128 回）案内

・日時:2016 年２月２６日（金）１８時～１９時 30 分　・会場：神奈川大学１号館３０１号室
・話題：広島土砂災害被災地ﾚﾎﾟｰﾄと神戸１．１７「追悼のつどい」ﾚﾎﾟｰﾄ等
・報告：防災塾・だるま　会員